

おにぐるみの学校では、木の岡地区に残された貴重なビオトープを子供たちに残していくために、このビオトープを守る活動を行っています。

このニュースレターは、「木の岡ビオトープ」や、「おにぐるみの学校の活動」をより多くの人に知っていただくために、定期的に発行するものです。



木の岡ビオトープ

平成 19 年度の取り組み

夏の自然観察会を開催しました！

7月22日に夏の自然観察会を開催しました。観察会の準備として7月12日には、草刈りなど散策路の整備を行いました。

観察会には57名の方に参加していただき、昆虫観察や植物観察、クラフト作りを行い、最後に記念撮影をしました。

昆虫観察

湿地林の中では、「滋賀虫の会」の遠藤先生に昆虫について説明していただきました。

雨の降ったあとは、昆虫は隠れているようです。それぞれ虫取り網を手に、チョウチョやトンボを捕まえました。



案内板ができました！



中西先生がおにぐるみの学校ののぼりを作ってくださいました。

よく目立っていたのではないのでしょうか！！



クラフトづくり

辻田先生の指導のもと、オニグルミを使ったネックレスを作りました。

最初に、オニグルミについての説明をしていただき、各自でビオトープ内に落ちていたオニグルミに顔を作ったりしました。

植物観察

湿地林の中では、小林先生に植物について説明していただきました。

以前の自然観察会で設置した箇所では植生調査の方法を教えてくださいました。

小さな子にはちょっと難しかったかな・・・



【おわび】

2月24日の冬の自然観察会は、荒天(大雪)のための、中止とさせていただきます。

ご迷惑をおかけし、大変申し訳ありませんでした。

今後も観察会を計画いたしますので、ご参加いただきますよう、よろしく願いいたします。

木の岡ビオトープについて

残されていた自然環境(木の岡ビオトープ)

木の岡地区の湖岸は、湖底がなだらかな傾斜をなし、陸域から水域まで、様々な水辺特有の植物が生育しています。これらの植物は水中と陸という異なった環境を緩やかにつなぎ、多くの生物が相互に関係を持ちながら存在する良好なビオトープになっています。

木の岡地区は、市街地の広がる南湖の沿岸でありながら開発の手から免れており、幅が100m、面積が4haにもおよぶまとまりのある自然環境が残された非常に貴重な場所です。



木の岡ビオトープの生きものたち

木の岡ビオトープでは様々な生物が生息しています。平成15年に滋賀県が実施した調査では、植物が約340種、昆虫類約410種、鳥類約60種、哺乳類6種、魚類12種等たくさんの生物が確認されています

【木の岡地区で見られる植物】

ヤブラン

林の下などの半日かげの所に多く生育しています。丈夫で青々とよく茂ります。葉の間から伸びた葉茎に淡い紫色の花が総状につきます。花の後に丸くて光沢のある黒い果実(種子)がつきます。



おにぐるみの学校 会員募集

一緒に木の岡ビオトープを守りませんか？

おにぐるみの学校では、木の岡ビオトープで自然観察会の開催や清掃などの活動を行っています。木の岡ビオトープの保全・利用に向けたこれらの活動に理解・賛同し、活動に参加もしくは支援して下さる個人や団体を対象に会員募集を行っています。

会員の方は、ニュースレター"おにぐるみ通信"の配信や、各種活動の案内のご送付、イベント等へ優先的にご参加いただけます。

みなさんで木の岡ビオトープの現状を理解し、地域に親しまれ、愛される場所としていくための活動に取り組んでみませんか。みなさんのご参加をお待ちしております。

発行者

おにぐるみの学校事務局

〒520-8577 大津市三井寺町2-33 中西方

FAX 077-522-9568

E-mail ynakanic@skyblue.ocn.jp

